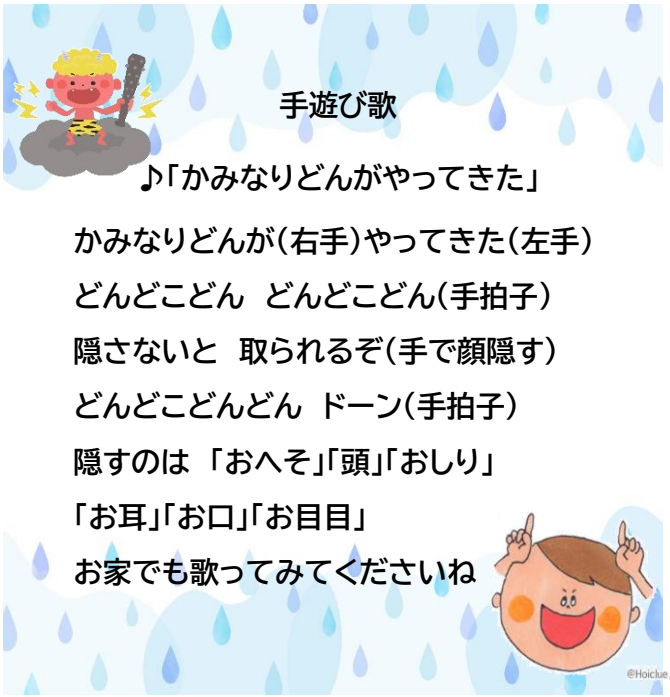
ことばのおたより

一般財団法人 三宅医学研究所
てふてふ
令和4年 5月

今年度から三宅リハビリテーション病院の言語聴覚士が保育に関わり、お子様たちの「ことばを育てる」お手伝いをさせていただくことになりました。
私たち言語聴覚士は、コミュニケーションに関わる専門職です。小さな子どもの場合、「言葉の発達がゆっくり」「発音がはっきりしない」などの心配事が、個人差の範囲なのか、他の要因があるのか判別が難しい場合が多く、からだやこころを含めた全体の発達を見守りながら、一緒に楽しく遊ぶ中で「良い関わり」をすることが大切だと言われています。
保護者の皆様や、保育所の先生方と一緒に、お子様たちの「こころ育て」を通して、言葉の力を育てる応援ができればと思っています。１年間、よろしくお願いいたします。

5 月のテーマは「聞く力」

聞きたい音が聞こえるまで待つ力、
さまざまな音の中から聞きたい音
を選ぶ力を身につける遊びをします。



手遊び歌

♪「かみなりどんがやってきた」

かみなりどんが(右手)やってきた(左手)
どんどこどん　どんどこどん(手拍子)
隠さないと　取られるぞ(手で顔隠す)
どんどこどんどん　ドーン(手拍子)
隠すのは　「おへそ」「頭」「おしり」
「お耳」「お口」「お目目」
お家でも歌ってみてくださいね

「見る、聞く、味わう、触る、におう」五感をつかったワクワク体験は、子どもたちの「知りたい！やってみたい！」世界を広げます。
いつもと違う経験に言葉を添えて、「家に帰ったら、お話したい」という気持ちが生まれるようサポートしていきます。子どもは身体を動かして遊ぶことで、心が動き、声が出やすくなります。一緒に遊び、視線を合わせ、言葉に耳を傾け、まずは子どもの気持ちを育ててあげてください。